

ギフトラッピングワークショップ

心を包む、1時間の手仕事

2026年5月31日

1時間のクラフト・ジャーニー

0:00



ゴールを描く

完成見本と展開見本の確認

0:05



ウォーミングアップ (15分)

ぷっくり袋づくり

0:20



メインワーク (30分)

マチあり袋づくり

0:50

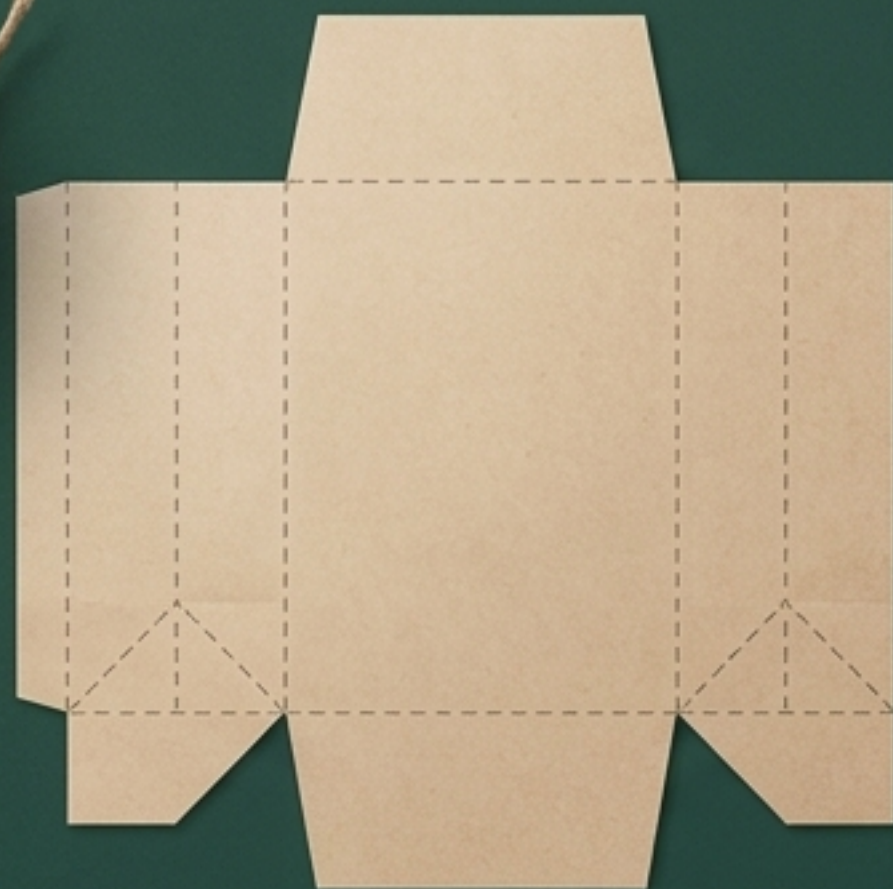


アレンジ&シェア

あなたらしさをプラス

ステップ0：平面から立体への構造を理解する

Anatomy of a Fold



展開見本



完成見本

作業を始める前に、必ず「展開見本」と「完成見本」を見比べてください。
折り目がどのように重なって立体的な袋になるのか、構造のゴールを頭に描くことで、この後の作業がスムーズになります。

第1部： ウォーミングアップ（15分）

簡単な「ぷっくり袋」からスタート

まずは手を動かして、紙の質感に慣れましょう。

目標：時間内に、表情の異なる2つの袋を完成させます。



ぷっくり袋：2つの表情を作り分ける

1袋目：ひもラッピング



紙の膨らみを活かし、無造作にひもを巻きつけてナチュラルな仕上がりに。

2袋目：リボンラッピング



パンチで【上部中央】に1箇所だけ穴を開け、リボンを通します。穴の位置は中心からズレないように慎重に！

第2部：メインワーク（30分）

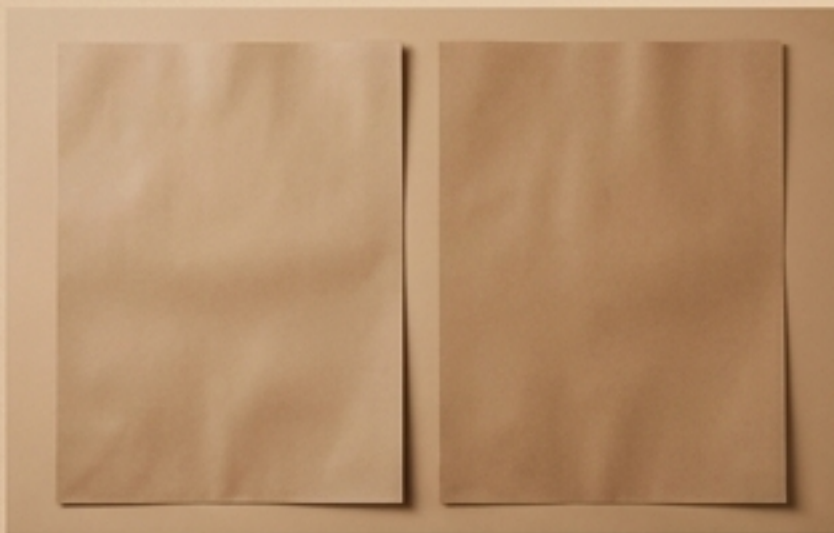
構造を楽しむ「マチあり袋」

いよいよ本番。持ち手付きと、持ち手無しの2種類の袋を作ります。

展開見本を見ながら作って行きましょう！



効率的な「同時進行」アプローチ



Step 1 (共通)



はじめに、同じ袋（本体）を同時に2つ作ります。
同じ作業を繰り返すことで
効率が格段にアップします。



Step 2 (分岐)

本体が2つ完成してから、
それぞれの「持ち手」を作る
仕上げ工程に入ります。

仕上げの分岐点：トップのスタイルを決める

【持ち手あり】



Required Material

下準備済みの資材を使用します（見本と資材キットを必ず確認してください）。

Style Vibe

スタンダードで持ち運びやすい、王道のギフトスタイル。

【持ち手なし】




Required Technique

上部を美しく折り込み、シールやリボンで封をします。


Style Vibe

ポーチのような洗練されたフォルム。



あなたらしさをプラス

ここから先は正解はありません。
ご用意したシール、リボン、紐を自由に使って、世
界に一つだけのラッピングを完成させてください。
素材を重ねたり、斜めに留めたり、自由な発想を楽
しみましょう！



包むことは、 想いを形にすること

構造の理解

平面の紙が立体に変わる面白さ。

想いを込めた確かな技術

想いを込めた丁寧な手仕事

個性と表現

素材選びで変わる無限の表情。

本日学んだ技術で、これからのギフトシーンに
さらなる彩りを。お疲れ様でした！